議題１．資料１　策定フロー図

時代の潮流

- 人口減少社会の到来
- 安全性の高い社会の実現
- 地球規模の環境問題
- 共生社会への移行
- 経済環境の変化
- 地方分権への対応

審議会からの意見

○前回計画から進めてきた「協働のまちづくり」によって様々な市民活動が芽生えつつある。活動間の連携を強め更なる「協働のまちづくり」を推進していく必要がある。

○前回計画のまちづくりの効果が発現しつつあるなかで、更に推進し、活力と生活環境の向上に努める必要がある。

○地域の持っている資源を磨き、他地域や周辺市町村からの観光・交流によって地域の活力を生み出していく必要がある。

市民意向

市民意向調査等

- 年代に応じた住みやすさの提供
- 医療福祉の充実
- 地域経済･活力の振興

市民懇談会

- 「みなと」地区を核とした地域資源の連携と「観光」を視点とした地域産業の交流連携による地域経済の活性化
- 趣と風情を残し品格のあるまち
- 市民・地域・企業・行政の協働により地位気力を高め、みんなで助け合いながら安心と誇りを持って心豊かに暮らし続けられるまち
- 様々な人々がいきいきと交流しているまち

まちづくりの主要課題

１．人口減少社会への対応

本市の人口は、平成７年をピークに減少に転じており、年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口の増加する本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来しています。

このような人口減少や少子高齢化の進行により、地域経済の活力低下、地域コミュニティの衰退、社会保障の負担増など、今後の市政運営に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。この問題を最重要課題として正面から取り組み、まちの活力を持続・発展させていく事が必要となっております。

２．住みやすいまちづくり

少子・高齢化社会の中、「住み続けられるまち」「是非住みたいまち」を創っていくことが、これからのまちづくりには欠かすことの出来ない課題となります。

このため、子どもから高齢者までが安全・安心で快適に「塩竈で生まれ、育ち、暮らしていく」ことのできるまちづくりを、行政だけでなく、市民・ＮＰＯ、企業など多様な担い手とともに進めていく必要があります。

３．地域経済の活性化

本市の経済状況は、基幹産業である水産業や水産加工業が、度重なる国際的な漁業規制などの影響を受けて低迷を続けており、“卸売・小売業”においても塩竈商圏が消滅するなど厳しい状況にあります。

今後はこのような状況を踏まえ、企業との連携を図り、グローバルな視野に立ちながら、これまで以上に観光という視点を取り入れた基幹産業の活性化や地元商店街の活性化策などを実施し、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る事が必要となっております。

４．塩竈らしい個性ある都市の形成

都市間競争を生き残っていくためには、画一的なまちづくりから他には見られない個性的なまちづくりが求められています。また、少子高齢化社会に対応するため、まちの機能を中心市街地に集約させるコンパクトシティの必要性が高まってきております。

このような中、歴史や文化、食産業など、他に誇るべき個性や地域資源を活かすとともに、交通アクセス・公共施設・医療機関等の充実など、狭い市域に都市機能が集約している本市のポテンシャルを高めながら、都市の魅力を強化していく必要があります。

５．市民力の強化

少子高齢化社会に対応し、安全で安心して暮らせる地域を形成するためには、コミュニティを活性化し、近隣で支え合うとともに、行政、NPO、企業が協働して地域社会を構築し市民力を高めていく必要があります。また、新たな時代に対応したまちづくりを推進するためには、安定した財政基盤の確立とともに、自立・持続できる行政システムの構築が必要となっております。

さらに、まちの元気・活力を持続・発展させるためには、郷土に誇りと愛着を持ちながら、積極的に地域社会に参加する次世代を含めたひとづくりが必要であります。

基本理念

“躍動”時代の大きなうねりを乗り越え、いきいきと未来に向けて躍動していくまちづくり

“創造”塩竈の歴史や文化を掘り起こし磨いて、他にはまねのできない地域の魅力として創造するまちづくり

“協働”市民一人ひとりが輝き、支えあい協働しながら大きな輝きとなっていくまちづくり

都市像

案１　海力（みりょく）とやさしさ誘う水都（みなと）塩竈

案２　海力（みりょく）創造都市塩竈

案３　粋々（いきいき）とあまたきらめく“うみ”のまち塩竈

（参考例）

基本方針・施策　横断的プロジェクト

定住プロジェクト
「ずっと住みたい」「ぜひ住みたい」と思われる魅力ある定住生活空間を創造します。

交流プロジェクト
地域産業や食文化など全ての資源を活用した交流をすすめ、人々が集う賑わうまちを形成します。

連携プロジェクト
市民、企業、活動団体や行政が、それぞれの力を出し合い連携することで、地域“総合”力を強化します。

第１編　誰もが安心して暮らせるまち

第１章　子育てを応援するまちづくり	・子育て支援の充実 ・地域社会による支えあいの充実
第２章　ともに支えあう福祉のまちづくり	・地域福祉の推進 ・健康づくりの推進 ・地域医療の充実 ・高齢者福祉の充実 ・障害者福祉の充実
第３章　安全に暮らせるまちづくり	・自然災害に強い社会の形成 ・生活安全の推進
第４章　便利で快適なまちづくり	・良質な住空間の整備 ・生活基盤の充実 ・交通体系の形成

第２編　海・港と歴史を活かすまち

第１章　産業の活力づくり	・水産業の活性化 ・港湾機能の強化 ・商工業の振興 ・産業間交流の推進
第２章　観光と交流のまちづくり	・都市観光の推進 ・魅力ある都市空間の形成
第３章　環境にやさしいまちづくり	・循環型社会の形成 ・自然環境の保全
第４章　潤いと魅力ある島づくり	・生活環境の充実 ・産業・交流の振興

第３編　夢と誇りを育むまち

第１章　子どもの夢を育むまちづくり	・生きる力を育む教育の充実 ・学習環境の向上 ・地域社会との連携強化
第２章　豊かな心を育むまちづくり	・生涯学習の推進 ・地域文化の振興 ・生涯スポーツの推進
第３章　協働で創るまちづくり	・活動環境の支援 ・まち情報共有の推進 ・行政力の強化